

12月23日 JR日南線の利用促進に向け企画発表



プレゼンテーション方式で発表されました

JR日南線の利用促進につなげようと、福島高校2年生の地域創生クラスがイベント企画案の発表会を同校で行いました。地域の活性化策を研究する地域創生学の一環。同クラスの観光ビジネス班が4つに分かれ、列車を活用したツアー開催など半年かけて作り上げたユニークな企画を提案しました。審査員としてJR九州宮崎総合鉄道事業部、宮崎学園短期大学、合同会社TATEGAMIの担当者が参加。

最優秀に選ばれたのは「旅を通して福島高校のよさを伝え、入学者の増加につなげよう」というコンセプトの企画「小中学生をターゲットにしたふれあい旅」。串間から飢肥まで列車などで移動し、日南市の飢肥城下町で食べ歩きを満喫する内容で、その行程の間に小中学生にクイズを出題しながら交流を深め、その中で福島高校の魅力も伝えていくというプログラムも含まれています。この企画は今年の3月21日に実施予定です。最優秀の企画を発表した田中汐音さんは「小中学生の思い出にずっと残り、串間への思いをもっと持ってもらえるように、今後も工夫をこらした内容にしていきたい」と話していました。

12月24日 女子車いすバスケット選手の網本麻里さんが市役所表敬

車いすバスケットボール女子日本代表のキャプテンとして、昨年の東京パラリンピックに出場し6位入賞に貢献した、網本麻里さんが市役所を表敬訪問しました。網本さんは大阪府大阪市出身。母が串間出身ということもあり、幼少時代から度々串間を訪れており、今回6年ぶりに訪れた際に市役所にも来ていただきました。表敬は始めに副市長・教育長に東京パラ五輪の結果などを報告。その後市職員に華麗なドリブルさばきなどを実際に披露しました。網本さんは「久しぶりに串間に来ることができてうれしい。2024年のパリパラ五輪出場に向けて、来年開催される世界選手権で出場枠を勝ち取れるよう練習を積み重ねていきたい」と意気込んでいました。



網本さんは2008年の北京パラ五輪で大会得点王を獲得しています

2022年11月5日 小中高生がかるた大会で熱戦



大会は小中高一貫教育の一環で2008年度から開催。市内の児童・生徒が詠んだ50首のかるたを使用しています

地元の歴史や文化、特産品などを詠んだかるたを使った「新春くしま学カルタ大会」が串間中学校体育館で行われました。市内各学校の予選を勝ち抜いた代表32人が参加。大会はトーナメント形式で対戦。緊張感が漂う中、参加者は上の句を読み上げる声に耳を澄ませて札を素早く取り合っており、熱戦を繰り広げていました。決勝は大東小学校5年生の清本麗さんを破った同中学校1年生の作本陽乃さんが初優勝。作本さんは「昨年コロナの影響で中止になった悔しさをバネに、家族に手伝ってもらい練習してきた。優勝できてうれしかった」と笑顔。清本さんは「初めて参加し決勝までいけてうれしかった。来年は優勝したい」と話していました。

12月13日 北方小6年児童が地域活性化案を発表



堂々と発表する児童たち

北方小学校の6年生20人は、郷土串間について学習する「くしま学」の発表会を行いました。児童は昨年5月から「くしま学」の学習を開始し、地域活性化のために調査、研究を行ってきました。発表では、黒瀬ぶりや美咲豚などの串間の特産品を使ったご飯のお供の商品考案や、豊かな自然があり市街地を一望できる第2高畑山に、完熟キンカンや甘藷などの特産品を使ったスイーツなどを提供するカフェ店を設置し、新たな観光スポットとして観光客増加につなげるなど、5つの地域活性化案を市職員に提案していました。加藤健くんは「緊張したが、これまで研究してきたことをしっかり発表できたのでよかった。ぜひ実現してもらえたら」と話していました。

12月13日 ジュニアレスリングの全国大会でくしまグリーンホースの選手3人が上位入賞

昨年の11月5～7日まで、熊本県の熊本市総合体育館で行われた「令和3年度第38回全国少年少女レスリング選手権大会」で、市内のジュニアレスリングチーム「くしまグリーンホース(鈴木博也代表)」に所属する3人の選手が上位入賞を果たしました。入賞者は、第3位の川崎綜友くん(小学5年生の部28キロ級)・鈴木菜花さん(小学5年生女子の部30キロ級)、第8位の井黒寛太郎くん(小学6年生の部36キロ級)。3人は今年の2月に東京都で行われる「第26回全国少年少女選抜選手権大会」の切符を手に入れました。12月13日、市長を表敬訪問し報告。川崎くんは「3位になれてうれしかった。選抜大会では優勝できるよう、これからも練習を頑張っていきたい」と意気込んでいました。



左が鈴木さん、左から2番目が井黒くん、右から3番目が川崎くん



敬礼の仕方を教わる児童



軽装甲機動車などの車両見学もありました

12月19日 ツアーを通じて串間の魅力を再発見

福島小学校PTAは、子どもたちに市内の食や仕事などに触れる「串間の魅力再発見ツアー」を開催しました。児童や保護者ら約20人が参加。ツアーは道の駅「くしま」をスタートし、公共交通を学ぶため、市コミュニティバス「よかバス」を利用して串間温泉いこいの里に移動。昼食にご当地グルメの「串間活メぶりブリ丼ぶり」を食べた後、本城地区にある航空自衛隊高畑山分屯基地に移動し施設内を見学しました。基地では仕事内容の説明や防弾ベストの試着体験、敬礼などの規律体験などもあり、児童らは自衛隊について理解を深めていました。6年生の豊饒康之亮くんは「自衛隊についていろいろ知れてよかった。ご飯もおいしくとても楽しかった」と笑顔で話していました。